

記者発表資料
令和元年11月29日
(担当) 都市整備局復興まちづくり課
横田、佐藤
(内線) 700-2620
(直通) 214-8582

仙台市東部沿岸部の集団移転跡地の利活用に係る 第3次募集の事業候補者を決定しました

本市では、津波被災地域における防災集団移転促進事業により、市が取得した土地（集団移転跡地）を利活用し、民間の自由な発想を生かして仙台の新たな魅力を創出するため、利活用を希望する事業者の募集を平成29年度から実施しており、既に移転跡地の一部は農地などとして活用が始まっています。

このたび、8月に実施した第3次募集に対し応募のあった事業提案について、外部の専門家を含めた仙台市集団移転跡地利活用事業者選定委員会による審査の結果、3事業者を候補者として決定したことから、事業候補者決定通知書の交付式を開催します。

1 日時 12月4日（水）午前11時30分から

2 場所 市役所本庁舎2階 第1委員会室

3 出席者

決定事業候補者

今野不動産株式会社 代表取締役社長 今野 幸弘（このの・ゆきひろ）氏

平松農園 平松 希望（ひらまつ・のぞみ）氏

仙台reborn株式会社 代表取締役 深松 努（ふかまつ・つとむ）氏

市長

4 第3次募集の概要 ※別紙、位置図参照

(1) 募集区画

10区画（南蒲生地区2、新浜地区2、荒浜地区3、藤塚地区3）

(2) 応募状況

①応募事業者 5事業者（荒浜地区4、藤塚地区1）

②応募区画 6区画（荒浜地区3、藤塚地区3）

(3) 決定事業候補者数

①決定事業候補者 3事業者（荒浜地区2、藤塚地区1）

②決定区画 6区画（荒浜地区3、藤塚地区3）

裏面につづく

事業候補者決定通知書

仙台 reborn 株式会社

代表取締役 深松 努 様

仙台市集団移転跡地利活用に係
る事業者募集（3次募集）におい
て、藤塚地区③④⑤ブロックの事
業候補者に決定しました。

令和元年12月4日

仙台市長 郡 和子





仙台市・集団移転跡地利活用

候補3事業者を決定

仙台市は東日本大震災の防災集団移転跡地の利活用事業で、農園や交流施設などを計画する3事業者を候補者に決定し、4日に市役所で通知書を交付した。今回決まったのは若林区荒浜、藤塚両地区の6区画（2万6810平方メートル）。これまで募集した5地区31区画（44万7260平方メートル）のうち、97%で利活用の方針が固まったことになる。

やイベント広場がある交流施設「ラララガーデン」（仮称）を整備。平松農園は新規就農者の支援、小学校と福祉施設の農業交流を展開する農場を設ける。

地区を加えた4地区10区画の事業者を募り、5事業者が6区画に応募した。外部専門家らの選定委員会が審査し、3事業者を決めた。郡和子市長は通知書の交付式で「来年は震災発生から10年目に入る。ここまで

荒浜地区は1区画が今野不動産（青葉区）、2区画が平松農園（若林区）に決まった。今野不動産は農園

決定。建設業の深松組（同区）などが設立した特定目的会社で、隣接区画に整備するレストラン、農園、温泉などの複合施設「アクアイグニス仙台」の駐車場用地として借り受ける。市は今年8月の3次募集で宮城野区南蒲生、新浜両

復興できたと目に見えるように、市沿岸部を盛り上げてほしい」と激励した。

